

2019年10月21日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2019年10月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <http://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

- 九州・沖縄の景気は、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、消費税率引き上げなどの影響による振れを伴いつつも、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかに増加している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。住宅投資は、低金利環境等を背景に、高水準で推移している。輸出は、総じてみると弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は、総じてみると弱めの動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。

9月短観における企業の業況感は、一部に弱めの動きがみられるものの、総じて良好な水準を維持している。

先行きについては、緩やかな拡大が続いていくことが期待されるが、海外経済を巡る不確実性の影響や、人手不足が供給面に与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		緩やかに拡大している。	緩やかに拡大している。
需要項目	個人消費	雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかに増加している。	消費税率引き上げなどの影響による振れを伴いつつも、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかに増加している。
	住宅投資	低金利環境等を背景に、高水準で推移している。	低金利環境等を背景に、高水準で推移している。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	増加している。	増加している。
	輸出	総じてみると弱めの動きとなっている。	総じてみると弱めの動きとなっている。
生産		総じてみると弱めの動きとなっている。	総じてみると弱めの動きとなっている。
雇用・所得		労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。	労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。

2. 個人消費

- 個人消費は、消費税率引き上げなどの影響による振れを伴いつつも、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかに増加している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	振れを伴いつつも全体として持ち直している。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	振れを伴いつつも新規出店効果などから増加している。
耐久消費財	家電販売	白物家電やテレビを中心に買い替え需要が広がっていることから、増加している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	新型車投入効果から緩やかに増加している。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行取扱額は、持ち直している。この間、観光面では、一部に弱めの動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、低金利環境等を背景に、高水準で推移している。
8月の新設住宅着工戸数は、分譲の増加を主因に前年を上回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。
9月の公共工事請負金額は、県発注分の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、増加している。
9月短観（九州・沖縄地区）における2019年度の設備投資（除く電気・ガス）は、製造業が前年を上回る一方、非製造業が前年を下回る計画となっている。
8月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6. 輸出

- 輸出は、総じてみると弱めの動きとなっている。
8月の輸出額（九州経済圏）は、前年を下回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、総じてみると弱めの動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、海外向けを中心に高水準で推移している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	車載向けは堅調ながら、スマホ向けを中心に弱含んでいる。
汎用・生産用 ・業務用機械	半導体関連向けを中心に弱めの動きとなっている。
化 学	国内向け、新興国向けを中心に高水準で推移している。
鉄鋼・非鉄金属	自動車向けを中心に高水準で推移している。
食 料 品	弱含んで推移している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。
労働需給をみると、有効求人倍率は高水準で推移している。
7月の雇用者所得総額は、前年並みとなった。

9. 物価

- 9月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（9月：+0.6%）。

10. 金融

- 8月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。
- 8月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 9月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

以 上